



しもよねだ



No.13

学校の教育目標 かしく(よく考える子) あたたく(思いやりのある子) たくましく生きる子(強い体の子) 令和6年2月29日

学徳高き<津田左右吉博士>のふるさと下米田で、**健やかに育つ子ら!**



子どもの世界

校長 佐藤 亜紀

「集合場所の水たまりに氷が張っていたよ。」「通学路の途中に、こんなに綺麗な花が咲いていたよ。」「今日、集合場所にニホンカモシカがいたよ!」
朝、東門に立っていると、通学班で登校した子どもたちから、様々な“お知らせ”が届きます。学校までの道のりを歩いて登校する時間は、地域の自然の移り変わりや出会う方々と交わす言葉を味わう尊い時間になっていることを感じます。

ある通学班の様子です。通学班長は班の先頭を歩いています。いつもきちんと2列に並び、信号のない交差点に差し掛かると班長は何度も何度も左右を確認して安全を確かめて渡ります。更に班の全員が渡り終わったか後ろを向いて確認し、また歩き出します。その歩く速さは4月当初から変わらず「全ての学年の子が歩きやすい歩幅とスピード」のままです。

通学班長に「いつもどんな事を心掛けていますか?」と聞いてみました。すると、「皆が安全に歩けるように、左右の確認を何度もしています。」と答えてくれました。

「皆が安全に歩けるように」という言葉の中には、横断する時の安全確認は勿論のこと、全ての子に合わせたスピードで歩くことで、間隔をあけずに通学班がまとまるという配慮も感じます。他にも、班旗を肩に掛け、車から見やすいように広げて持っている班長・副班長、止まってくださった運転手さんにお礼の会釈ができる通学班等、心遣いがいっぱい!の通学班が多くなってきました。

子どもたちにとっては、通学班登校は毎日のことです。「班長・副班長」の自覚の下で継続してきた日々の営み、その声に応える班の子らの関わりは、貴重な「子どもの世界」を創り出しています。

2月22日(木)第3回目の学校運営協議会を開催しました。

子どもたちが授業に向かう様子、登下校中の子どもたちの様子など、学校教育評価のまとめ(裏面掲載)と併せてご意見、ご感想、ご指導をいただきました。

- ・これからも児童と先生との信頼関係を大切にしたい。そのためには、コミュニケーションが必要になってくる。
- ・コミュニケーションを図る上で、「挨拶」はとても大切である。地域の一員としても「おはよう」に一言添えた挨拶を心掛けている。それに応えてくれる子が多くなってきた。
- ・「学校へ行くのが楽しい」が一番大切なこと。その点で学校評価の評価点が高く安心している。
- ・先生たちの表情もよく、先生たちが「学校へ行くのが楽しい」と思っていることが分かった。
- ・児童の評価が下がっている項目は、「私たちはもっと頑張れるよ」という気持ちの表れだと思う。学校運営協議会も「学校が楽しい」の一助になれるよう、来年度も地域の一人として、お手伝いできることをしていきたい。



「未来を創る子どもたちのために」

下米田町ご出身、富加町在住の片山 晃利 様から、2月9日に学校へ100万円のご寄付をいただきました。寄付をされ続けていらっしゃる思いやきかけとなった“出来事”をお聞きし、その熱い思いに大変感銘を受けました。子どもたちの声を聞きながら、有効に活用させていただくよう計画しています。ありがとうございました。